

長野市オリンピック記念アリーナ(エムウェーブ)

施設管理者 : 株式会社エムウェーブ
施設所在地 : 長野市大字北長池 195
調査見学時期 : 平成19年11月9日

施設概要

エムウェーブは、平成10年の長野オリンピックのスピードスケート会場、長野パラリンピックの開閉式・アイスレジャスピードレース会場となった地下1階地上3階建ての多目的アリーナです。平成6年3月に工事が開始され、平成8年11月に完成しました。

エムウェーブの地下には、駐車場のほか、冷房、空調、製氷の各種機械室、トレーニング施設などが配置されています。地下駐車場は、乗用車にして約600台が収容でき、ワンフロアとしては日本最大の規模となっています。空調機械室には、冷房用の大型エンジンが4台配備されています。敷地内には井戸が掘削されており、この井戸水は空調冷却水、消雪、外部散水等、施設内の一部の給水に利用されています。

世界でも有数の高速リンクとして有名なエムウェーブのリンク製氷は、水道水を地下製氷機械室の濾過設備で純水にした後、2週間かけて約3cmの厚さに仕上げているとのこと。



エムウェーブの概観

出典; エムウェーブ ホームページ
(<http://www.nagano-mwave.co.jp/>)

エムウェーブ建築概要

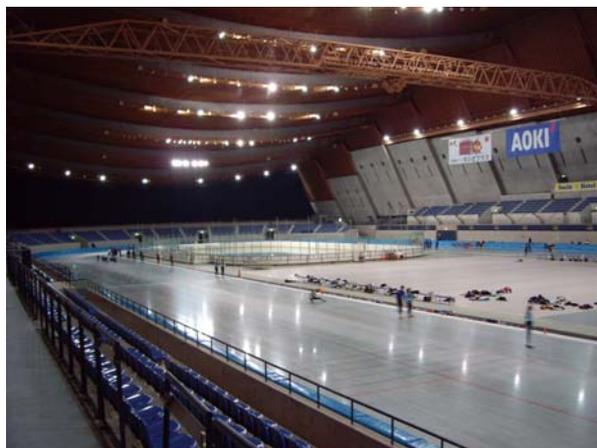
敷地面積	111,470.82m ²
建築面積	31,368.02m ²
構造	RC 構造 屋根構造用大断面集成材による半剛性吊り構造
地下深さ	7.40m (基礎下端迄)
高さ	SGL+43.35m
地階階高	4.1m
アリーナ面積	26,930.71m ²
観客収容	10,000人
総工費	348億円



地下駐車場



地下機械室の状況



アイスリンク